

EPA看護師候補者受入れに 当たって

公益財団法人ときわ会 EPA事業看護師受け入れ推進室

看護師 園田友紀

2020/4/3,7

本日の内容

- 1 法人・病院概要
- 2 EPA看護師・候補者生受入れの現状、受入れ理由
- 3 受入れからの利用者、患者、家族、職員の反応
- 4 受入れまでの負担、受入れ後の負担
- 5 受け入れ準備に関する助言
- 6 研修体制
- 7 受入れて良かった点、苦勞した点
- 8 国家試験合格後の課題



1 法人概要

一山一家

地域の皆様と共に生きる



「一山一家」の理念の下、福島県いわき市を拠点にグループ法人を展開しています。



公益財団法人ときわ会

- ・常磐病院
- ・先端医学研究センターRIIM
- ・磐城中央病院
- ・いわき泌尿器科
- ・竹林貞吉記念クリニック
- ・訪問看護ステーションきゅあ
- ・ゆしまや保育園
- ・ゆしまや第二保育園

医療法人社団ときわ会

- ・日東病院
- ・北茨城中央クリニック
- ・富岡クリニック
- ・余丁町クリニック
- ・小名浜ときわ苑（老健）
- ・檜葉ときわ苑（老健）
- ・ときわ会居宅介護支援センター
- ・ヘルパーステーション
- ・きんの杖
- ・サービス付き高齢者向け住宅 Well
- ・デイサービスセンター ルピナス

学校法人志向学園

- ・かなや幼稚園
- ・ときわ児童クラブ(附帯事業)

社会福祉法人光美会

- ・デイサービスセンター人生の里
- ・人生の里居宅介護支援事業所
- ・富岡町高齢者サポートセンター
- その他全国に14事業所

いわき市中心街におけるときわ会グループの立地



ときわ会ではアジア諸国から 看護・介護人材の受け入れを行っています



■ 常磐病院
(いわき市常磐上湯長谷町)

■ 小名浜ときわ苑
(いわき市小名浜)

■ 仮設楢葉ときわ苑
(いわき市内郷高坂町)

ベトナム人看護師候補者 7名
(内3名は2020年8月受入れ開始予定)

インドネシア人介護福祉士
候補者4名

中国人介護技能実習生 3名

ベトナム人看護師 5名

常磐病院 概要

※2020.1.31現在

職員数 / **529名** (グループ全体では約**1100名**)

看護職 301名

(**看護師180名 准看護師52名 介護福祉士・看護補助者69名**)

医師 23名 (常勤)

薬剤師16名

臨床検査技師14名

臨床工学技士24名

診療放射線技師18名

理学療法士13名/作業療法士4名/言語聴覚士3名

管理栄養士9名

社会福祉士7名

医療安全管理者1名

その他医療職・事務職員等109名

病床数 / 一般病棟 150床 (泌尿器・腎臓内科・外科・
整形外科・血液内科・リウマチ膠原病科)

療養病棟 90床

透析センター 153床 (東北最大級)

看護配置 / 入院基本料 一般10対1
療養20対1



診療科目 / 外科、内科、小児科、**泌尿器科**、
放射線科、整形外科、**腎臓内科**、
人工透析内科、循環器内科、
リウマチ膠原病科、消化器内科、
呼吸器内科、婦人科、麻酔科
リハビリテーション科、救急科、
血液内科、健診、
人間ドック

2 EPA看護師・候補者受入れの現場

年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	合計
受入	1	1	1	3	3	3(予定)	9名 (3名予定)
合格	0	0	1	4	-	-	5名

- 2015年より、ベトナム人看護師候補者生の受け入れ開始
- 2020年3月現在、EPA看護師5名、EPA看護師候補者4名在籍
- 受入れから1年半（2回目の受験）での合格を目指し、半年での合格が2名、1年半での合格が2名、4年半での合格が1名
- 2020年8月、EPA看護師候補者3名が新規入職予定

2 受入れ理由



目的

日本とベトナムとの経済連携強化に基づき、国際協力事業としてグループ各施設全体で参画し、この受け入れの取り組みにおいて、一人でも多くの外国人候補者を看護師・介護の国家試験に合格させる。



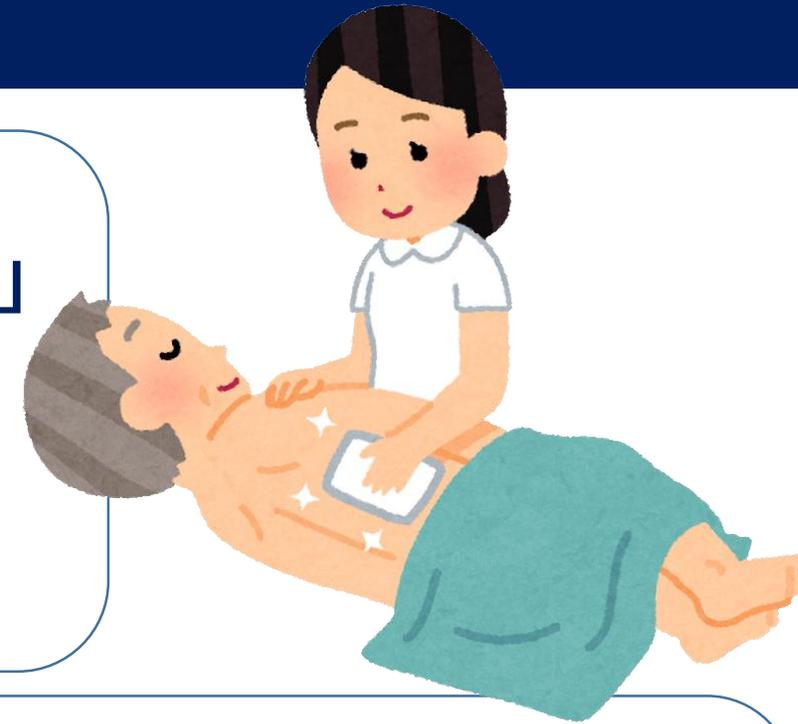
方針

日本の国家資格の取得のため、候補者自身が資格取得に必要な修得に精励出来る教育環境構築はもちろん、受入れ機関として適切な国家試験対策、日本語学習等の研修を実施する。

3 受入れからの患者様、ご家族、 職員の反応

患者様やご家族から

患者説明の言葉が不明瞭で「何を話しているか分からない」「ちゃんと伝わっているか不安」という声もあります。一方で「丁寧な声かけと対応をもらった」「頑張っているね」という言葉や地域の方から応援の新聞投書も頂きました。



職員から

「ベトナム人看護師を受け入れることで、部署全体で今まで以上に根拠を大切に教えるように心掛けている」（病棟師長）
「もちろん教えることもありますが、教えてもらうことも沢山あります。文化や表現の違いを話し合っ、いつも楽しく仕事をしています」（病棟プリセプター）



メディア各社にも取り上げて頂きました



外国人看護師の誕生は県内初

福島のニュース

福島 社会 [ツイート](#) [シェア](#)

EPAで看護師合格 ベトナム人のハインさん「たくさん学びたい」

ベトナム人のダン・ティ・ミン・ハインさん（36）が今月、福島県いわき市の常盤病院で、看護師として働き始めた。経済連携協定（EPA）に基づいて2年前に来日。同病院に勤めながら勉強を重ねて国家試験に合格した。「まだまだたくさん学ぶことがある」と向上心を絶やさない。



血圧測定の実習をするハインさん＝福島県いわき市の常盤病院
拡大写真

ハインさんは同国ハイフォン出身で、地元の病院で約10年間、看護師として勤務した。2016年、「最新の医療と丁寧な看護技術を学びたい」と来日。同年8月から常盤病院で看護補助として勤務した。

看護師 | 朝日新聞 DIGITAL

ム人第1 | [↑ トップニュース](#) | [スポーツ](#) | [カルチャー](#) | [特集・連載](#) | [オピニオン](#)

の文化が | [新着](#) | [天声人語](#) | [社会](#) | [政治](#) | [経済・マネー](#) | [国際](#) | [テック&サイエンス](#) | [環境・エネルギー](#) | [地域](#)

看護師 | [朝日新聞デジタル > 記事](#) | [医療](#) | [医療・健康・福祉 \(アピタル\)](#) | [福島](#) | [有料記事](#)

勝ち取っ | [11歳](#) | [福島](#) | [いわき市の病院でベトナム人看護師、県内初](#)

柳沼広幸 2018年5月9日03時00分

[シェア](#) [ツイート](#) [ブックマーク](#) [メール](#) [印刷](#)

105 1122 0



生体情報モニターの使い方を学ぶハインさん（中央）＝いわき市の常盤病院

ベトナムから来日したダン・ティ・ミン・ハインさん（36）が今春、日本の看護師国家試験に合格し、4月から福島県いわき市のどきわ常盤（じょうばん）病院で看護師として働いている。日本とベトナムの経済連携協定（EPA）で来日し、同病院で実習しながら日本語を学び、難関を突破した。EPAで来日して看護師になったのは県内では初めてだ。

ハインさんは、ベトナム 北部の 港湾部

4 受入れまでの負担、受入れ後の負担

受入れまでの負担

受入れ後の負担

人的

- ・生活支援者1名（事務職、専任）
- ・総務課職員（労務）

- ・生活支援者1名（事務職、専任）
- ・学習支援者1名（看護師、専任）
- ・日本語講師1名（日本語教員、パート）

物的

- ・住環境の確保（中古住宅の購入、賃貸アパートの契約、家具・家電の購入）
- ・学習場所の確保
- ・学習環境の整備

- ・住環境の整備（ネット環境や住居の保守・整備）
- ・制服
- ・学習教材（教科書、問題集、模擬試験等）

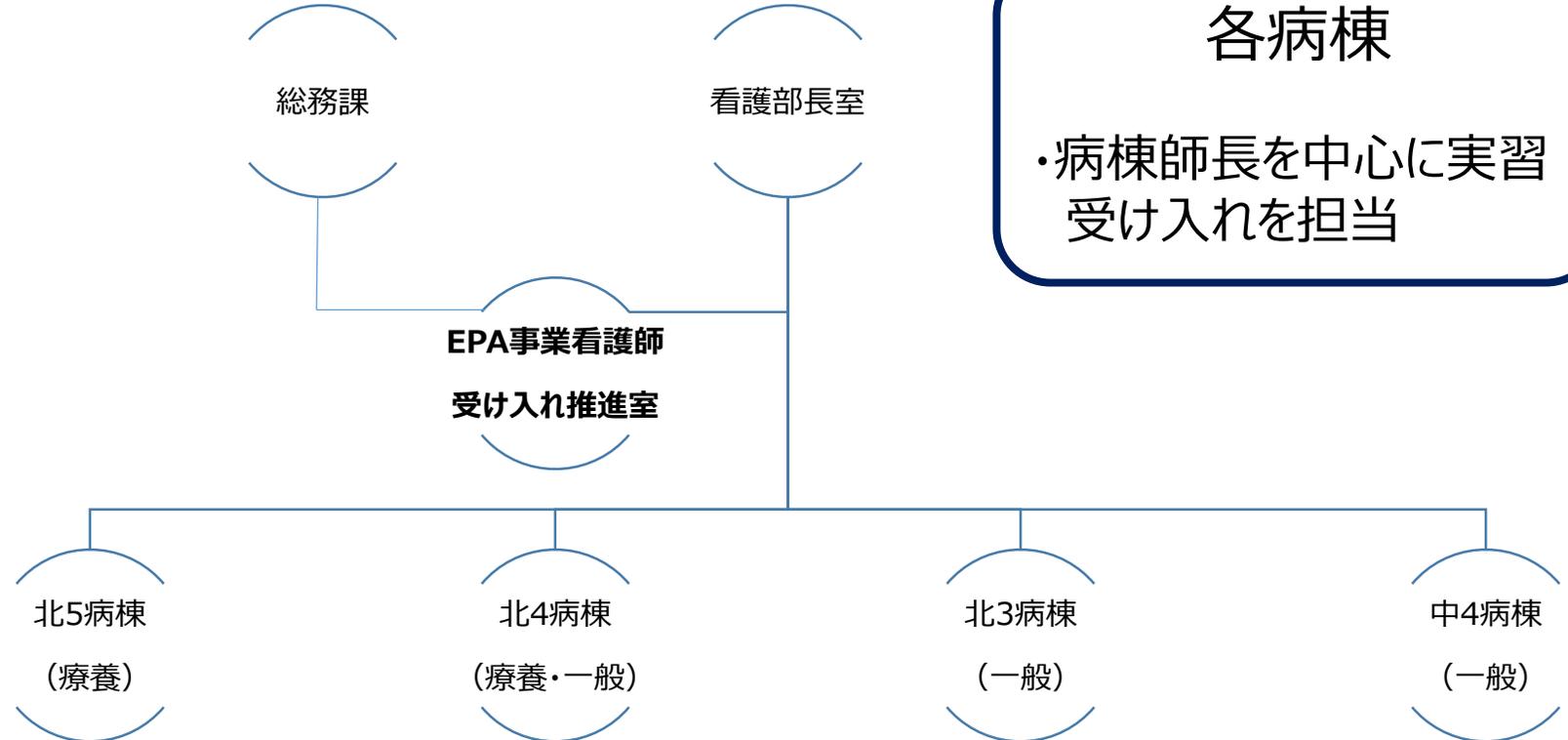
上記に加え、現地説明会や国家試験受験関連費用など、EPA候補者受入れに関連する経費は年度頭に予算計上を行う

受入れ体制の構築

候補者の「日常」を支える体制

EPA事業看護師 受け入れ推進室

- ・看護部長室 直轄組織
- ・総務課と看護部と混合編成でEPA看護師に関わる業務を横断的に対応
- ・総務課1名(行政手続き、生活支援担当)
看護師1名(学習支援担当)
- ・それぞれ、困ったことは、総務課上長、看護部長・教育担当師長と相談し進める



受入れ体制の整備

候補者(支援者)の「困った」を解決する体制

- **EPA看護師候補者受け入れ推進会議**
 - 受け入れ直前期の準備・情報共有を目的とした会議
- **アジア諸国からの看護・介護人材受け入れ3施設合同会議**
 - 法人内病院・施設の情報交換、進捗状況確認を目的とした会議
- **その他、必要時参集**
 - 日本語外部講師委託検討、新規候補者受け入れ時、国家試験直後の方針等

住環境の確保・整備

- 女性候補者は戸建住宅を寮として共同生活（個室有、リビング、台所、風呂、トイレは共有）
- 男性候補者はアパートで一人暮らし
- 家賃、水道代、光熱費、通信費込みで定額（差分は病院より補助）
- 候補者の期間中は布団、炊飯器以外の家具・家電は貸与
- 合格後は一人暮らしに移行



学習環境の確保・整備

- 受入れ開始時は病院内に学習室を確保
- 病院機能の拡張に伴い、学習室を院外へ（現在は寮の一室を学習室、事務室として利用）
- 学習室には国家試験学習のための参考書やインターネット環境を整備し、自己学習が進められるような環境づくりを行う



5 受け入れ準備に関する助言

- 留意点 1 ルール化する
- 留意点 2 他の職員と同等に対応する
- 留意点 3 福利厚生などを伝える
- 留意点 4 各課との連携
- 留意点 5 院内への周知
- 留意点 6 緊急時対応
- 留意点 7 EPA看護師の家族対応

職員にEPA候補者や
研修内容を知らせる
ニュースレターを毎月発行
しています！



◆ EPAベトナム人看護師/看護師候補者 ◆

ニュースレター

Vol.02
2018年5月号

新人看護師演習

新年度となり、新人看護師さんがたくさん入職され、研修も始まりました。看護師候補者のグエンさん、ルオンさんも、EPA看護師となったハインさんと共に新人看護師演習に参加しました。身体拘束や注射の打ち方など、演習を受けてみていかがでしたか。

グエンさん:
短い時間での演習でしたが色々なことを勉強できました。看護師国家試験や仕事時にも役に立つと思います。機会があれば他の演習も勉強したいと思います。

ハインさん:
演習は役立つと思います。ナースングスル上の演習で患者さんとのコミュニケーションも練習しながら技術をやります。日本人の同期と一緒に演習も楽しかったです。医療以外の日本の文化や生活の言葉も学ぶことができます。演習の時患者さんとして、患者さんの気持ちがわかるようになることも大切だと思います。

ルオンさん:
教えてくれた皆様から色々なことを学びました。皆様は熱心に詳細について説明してくれました。本当にありがとうございます。ベトナムと日本の間には医療機器に大きな違いがあります。日本の医療機器はモダンで使いやすいです。演習のとき新しい医療技術を学びました。それだけ大事

5 受け入れ準備に関する助言

留意点1 ルール化する

例) 住居や生活面での病院負担分と候補者負担分の明確化
病院負担：電化製品、机、椅子等
候補者負担：寝具、通信費等

留意点2 他の職員と同等に対応する（特別待遇をしない）

例) 業務中に着用するカーディガンの購入について
当時の担当者が1期生や2期生に買い与えた。しかし職員は個人負担で購入することになっているので、候補者も個人で負担するようにした。

留意点3 福利厚生や賃金、休みについて正しく伝える

例) 公休、有給休暇取得
公休の取得方法が、1期生と3期生で説明が異なっていた。
伝える側が誤った理解をしていたので、確認した上で正しく伝える。



5 受け入れ準備に関する助言

留意点4 各課との連携

- 例) 問題点が挙がったら、関係者で話し合う、又は情報共有するシステムを構築する
→推進会議、グループメール

留意点5 院内への周知

- 例) EPA看護師/看護師候補者の活動を院内に知らせ、活動の理解を得る
→EPAニュースレターの発行(毎月)

留意点6 緊急時の対応

- 例) 気候変動による大型台風やコロナウイルスの感染拡大等、緊急事態に繋がる事態が増加。非常時に備えるため、連絡網の作成や備品の配置(懐中電灯や水、食糧)

留意点7 EPA看護師の家族対応

- 例) 合格後、家族を呼び寄せることに対する様々なサポート

6 研修体制

EPA看護師候補者生の1日のスケジュール

	1年目(8・9月)	2年目(4～9月)	4年目(4～9月)	全学年共通 (10月以降)
8:30-9:30	実習	実習	実習	国家試験対策
9:30-10:30	実習	実習	実習	
10:30-11:30	専門講義	実習	実習	
11:30-12:30	専門講義	実習	実習	
12:30-13:15	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み
13:15-14:15	自習(予習・復習)	自習(予習・復習)	実習	
14:15-15:15	日本語	専門講義	実習	
15:15-16:15	日本語	自習(予習・復習)	専門講義	日本語
16:15-17:15	自習(予習・復習)	日本語	日本語	日本語

- 特徴 1 : **実習時間は**学年が上がるたび**増加**し(1年目 : 2時間、2年目 : 4時間、4年目 : 6時間)、**学習時間は減少**
10月以降から国家試験までは実習がなくなり、**終日、国家試験対策**になる
- 特徴 2 : 毎日 1 時間以上、日本語学習の時間を確保 (**N2取得を推奨**)

6 研修体制（日本語）



	指導担当	指導内容
就労1年目	日本語講師	8～11月（週2回、1回2時間）
就労2年目		12～3月（週2回、1回1時間）
		・会話力の強化 （使用教材：「新日本語の中級」、「日本語生中継」）
		・読解力の強化 （使用教材：「クエスチョン・バンク」）
		・N2対策
		・日本語を使ったコミュニケーション能力の把握 （使用教材：「JFスタンダードロールプレイテスト」）

日本語担当講師に依頼するポイント

- ・1年目はコミュニケーション能力（「聞く」「話す」）の強化を中心に指導内容を設定
- ・2年目は7月にあるN2試験までは文法や語彙、国家試験直前は読解力の強化が中心
- ・読解は看護師国家試験対策問題集である「クエスチョン・バンク」を用いて、専門用語以外の日常的な言葉や文法を学ぶ
- ・年に1回、コミュニケーションスキルを測るテストを行い各部署の師長、教育担当に共有、フィードバックを行う

6 研修体制（受験対策）



	指導担当	指導内容
就労1年目	学習担当 看護師	・頻出科目、頻出項目の講義 ・必修問題の小テスト ・質疑応答
就労2年目	学習担当 看護師	・状況設定問題の問題演習、解説 ・苦手科目の講義（社会保障制度等） ・質疑応答
就労3年目 以上	学習担当 看護師	・状況設定問題の問題演習、解説 ・苦手科目の講義（社会保障制度等） ・質疑応答

学習担当看護師として

- ・1年目は国家試験の頻出や重要項目の理解のため、同学年での講義が中心
- ・2年目以降は得意・不得意や理解度にバラツキがあるため、個別に計画を立て、個別指導が中心
- ・部署での実習の振り返りや部署での日本語の課題を日本語講師に繋げるなど、研修全体が連動して機能するように配慮

6 研修体制（日々の業務）



	指導担当	指導内容
就労1年目	主任 現場スタッフ 教育担当 副看護師長	<ul style="list-style-type: none"> ・チェックリストに沿って、現場スタッフと共に日々の業務 ・実習の振り返り
就労2年目	主任 現場スタッフ 学習支援担当	<ul style="list-style-type: none"> ・チェックリストに沿って、現場スタッフと共に日々の業務 ・見守りながら、日常生活援助は1人で実施 ・実習の振り返り、実習記録のチェック
就労3年目 以上	主任 現場スタッフ	<ul style="list-style-type: none"> ・チームのメンバーとして一緒に行動 ・バイタルサイン測定は看護師と一緒に行動 ・看護補助者の役割はできるようになれば1人で実施

受入れ部署の看護師長より

- ・担当の看護師は指導経験や性格を考慮した
 - ・毎日、必ず担当者をつけた
 - ・チーム変更はせず、できるだけ同じチームで動くようにした
 - ・意味が分からない言葉を確認し、コミュニケーションを増やした
- 3年目になると質問できるようになり、母国との違いについて話せるようになった

7 受入れて良かった点、苦勞した点

良かった点

- ・ 多様な看護師、患者様を受け入れる組織風土が醸成されつつある
- ・ 研修制度や指導方法などを改めて見直し、教育体制の強化を図っている

苦勞した（している）点

- ・ EPA担当者だけではなく、病院としてワンチームで受入れる
- ・ 国家試験対策と看護師候補者（「学習」と「実習」）とのバランス
- ・ 一度決めたことを変更する際の抵抗（購入物品、実習時間や内容）



8 国家試験合格後の課題

国試合格から看護師を見据えた体制づくりへ

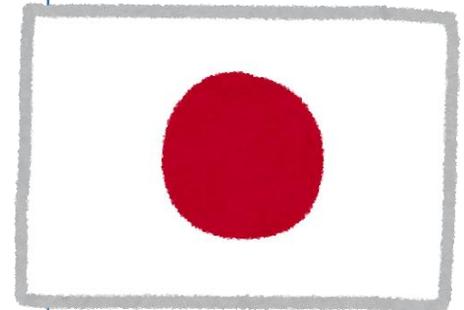
EPA看護師として

- ・ 日本語（病棟スタッフ・患者様・ご家族・他職種とのコミュニケーション・記録）
- ・ ワークライフバランスの両立
- ・ 合格後のモチベーションの維持



病院として

- ・ 増加するEPA看護師を受入れる体制づくり
EPA看護師に配慮した研修計画の作成
夜勤等を配慮した配属部署のバランス
- ・ 来日する家族のフォロー（住居、仕事や学校、日本語）







地域医療を最先端で支える



公益財団法人

ときわ会

TOKIWAKAI GROUP

常磐病院



ご清聴ありがとうございました